

2 金大連携サポート

内 容

県内公立学校及びその他の団体*からの依頼に応じて、研修センター指導主事とともに金沢大学の先生方が訪問、またはオンラインで対応します。教職員を対象に、講義・演習、授業参観等を行い、専門的な見地からの助言を行います。

※その他の団体 … 県、各郡市町単位の教職員で構成された任意団体

以下の内容は、サポートの対象外となります。

- ・学校の教育課程の編成や学校研究の進め方などに関するもの
- ・教育事務所や学校指導課等の学校訪問の内容に関わるもの
- ・基本研修の模擬授業や指定研究授業等に関わるもの（市町立学校及び県立中学校のみ）
- ・公開研究発表会に関わるものや各種審査等の依頼（サポート以外の手続きが必要）
- ・受講者が教員以外の研修（児童・生徒、保護者等）

実施期間及び申込方法

実施期間：令和7年4月30日(水)～令和8年3月13日(金)

申込方法：希望日の4週間前までに、研修申込システムより、自主研修サポート仮申込を行う。

- ・4月～8月の依頼は4月1日(火)より、9月～3月の依頼は7月1日(火)より申込受付を開始。
- ・サポート仮申込入力フォームに従い、希望日時、教科・領域、内容の詳細等を記入する。
- ・担当する指導主事から電話で連絡後、詳細を確定し、正式申込を行う。

◇サポート対象（研修申込システムを使っての「仮申込時」にどちらかを選択）

サポート対象	サポ一ト
学 校	校内研修や個人研修に関するサポート（学校単位）
地 域	その他の団体の研修等に関するサポート（例：学校教育研究会等）

◇受講形態（研修申込システムを使っての「仮申込時」にどちらかを選択）

受講形態	サポ一ト
訪 問	学校等に金沢大学の先生と指導主事が訪問して行うサポート
オンライン(ライブ)	Web会議システムを利用して行うオンラインでのサポート

「仮申込時」における「1人1台端末活用」の確認 ※チェック☑は最初から入っています

- ・サポート内容に1人1台端末の活用の内容を含む場合 …… チェック☑はそのままで結構です
例) 授業づくりで1人1台端末の活用場面が1回でもある 等
- ・サポート内容に1人1台端末の活用の内容を含まない場合 …… チェック☑を外してください

◇講師・内容

以下の講師及びサポート内容を確認し、研修申込システムサポート仮申込入力フォームの「教科・領域」選択時に希望する金沢大学の先生を選択してください。

名 前	吉川 一義	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	校内・専門機関連携による組織的児童生徒支援（特別支援教育を含む）		
対 象	小・中・高・特の教職員		
内 容	いじめ・虐待・障害・貧困・生活の乱れ等の問題を抱える子どもには、心理教育的支援のみならず、生活環境にある問題改善のための支援も必要です。複雑・多様化した問題背景の構造を分析し、学校と専門機関連携を強化しながら、問題の改善・解消を目指すスクールソーシャルワークの必要性和有効性について対話的に考えます。		
時間・回数	時間や回数については、話し合って決定します。		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	大谷 実	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	学習指導要領で求められる算数・数学科の授業づくり		
対 象	小・中学校の若手教員		
内 容	算数・数科学習指導要領の重要な改善事項であり、教科の特性でもある「数学的な見方・考え方」、「数学的活動」、「問題発見・解決のプロセス」等を重視した授業改善について演習形式で学びます。		
時間・回数	120分・1回		
可能な時期	8月、9月		

名 前	武居 渡	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	通常学校における特別支援教育の考え方と合理的配慮		
対 象	幼・小・中・高・特の教職員		
内 容	通常学校における特別支援教育の考え方について、発達障害の疑似体験などを通して児童生徒の気持ちになって考え、そのような子どもたちの支援の在り方について考えます。また合理的配慮の考え方について説明し、児童生徒の自己理解の重要性とその支援についても考えます。		
時間・回数	2時間程度		
可能な時期	ご相談に応じます。		

名 前	本所 恵	役 職	金沢大学教職大学院 教授
テーマ	教育評価研修		
対 象	小・中・高・特の教職員		
内 容	各学校の取り組みを踏まえ、探究的な学習や、教科学習などでの評価について、ワークショップ形式で協議します。実際の具体的な生徒の作品や学習の様子を参加者が実際に評価し、観点や価値観の違いを明らかにしながら、より良い評価について考えます。		
時間・回数	2時間程度（別途、事前の打ち合わせが必要です）		
可能な時期	ご相談に応じます。		